

報告者：

薬学科4回生 分子生物学研究室 中村 葉

本セミナーは、仕事を持ち自らの人生の選択権を持つことが豊かな人生設計に重要であること(自主自立)、女性の人生設計に関わる様々な出来事をあらかじめ知り、長期的な視点を持つこと(ライフ・プランニング)、キャリアの構築が単に個人の自己実現にとどまらず、よりよい社会づくりにつながるということ(社会に主体的に参画・変える視点)の3つの視点を学ぶ機会を提供して頂くものでした。2日間にわたり、講演や講義に加えてグループワークや交流会を通じて、生の声を聞く機会が得られる内容でした。

基調講演「キャリアを考えることは人生を考えること」では、ルース・マリー・ジャーマンさんより「外国人の目線で日本人のよいところ」の話があり、自分らしい視点や生き方について学び、続いて「先輩の声を聞く」というテーマによるパネルディスカッションで、生越多恵子さんのコーディネートとパネリストによる議論で、働く女性の現状や課題、女性の人生設計に関わるさまざまな出来事や、働くことの面白さ、課題を乗り越えるための視点を学びました。さらに情報提供として女性情報ポータル Winetの紹介と女性教育情報センターを見学し、交流会では小グループで意見交換を行い、さまざまな立場の方のお話を聞くことでキャリアについての自分の考えを掘り下げ、整理しました。

2日目には「働く女性を取り巻く環境～女子大学生追跡ヒアリング調査を通して～」というテーマで国立女性教育会館研究国際室研究員の島 直子さんより講義があり、就職した女性の追跡調査から、大学時代から入社3年目にかけての意識や経験、また国際比較データを交えながらの女性を取り巻く状況や社会環境、男女共同参画の推進について学びました。

グループワークでは、自分自身の未来や主体的に社会に関わるキャリア形成について自分の考えや思いを整理し、さらにこれからの目標を明確にするキャリアシートの作成を通じ、具体的な行動計画を考えました。

本セミナーに参加させて頂いたことで、自らのキャリア形成について深く考えることができました。まず、自分のidentityを持つということが大切であると感じました。受け入れるもの受け入れないものをはっきりと分け、自分にとって大事なものは大事にする、相手と異なる点を楽しむ、というジャーマンさんの考えは非常に刺激を受け、私も自分らしさを持つよう考えるようになりました。また、女性が働き続けることができるための環境、勤務体系の重要性も改めて感じました。

このセミナーを受け、実際にキャリアを形成してきた先輩方のお話を聞くことで女性の多様な生き方を知ることができました。自分の将来のプランを考える、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

